小学六年

適性検査A

解答と解説

問題一
相
手
を
完

4

問題二 (例)			
な	意	困	相
く	見	か	手
合	と	ら	の
意	食	の	面
し	い	評	目
て	違	価	を
い	っ	が	つ
る	て	下	ぶ
か	い	が	す
の	て	り	こ
よ	も	か	と
う	、	ね	に
に	表	な	躊
ふ	面	い	躊
る	的	た	し
ま	に	め	な
う	は	、	い
。	な	相	と
	ん	手	、
	と	の	周

80 60 40 20

(例)						
目	け	で	幅	丨	と	
を	の	は	さ	現	り	イ
保	コ	、	れ	象	に	ン
と	ミ	対	る	を	つ	タ
う	ユ	面	可	取	い	丨
と	ニ	で	能	り	て	ネ
す	ケ	は	性	上	、	ツ
る	丨	な	に	げ	文	ト
意	シ	い	つ	自	章	上
識	ヨ	ネ	い	分	A	で
が	ン	ツ	て	と	で	の
低	に	ト	述	同	は	見
く	お	ワ	べ	じ	、	知
な	い	丨	て	意	エ	ら
り	て	ク	い	見	コ	ぬ
、	は	上	る	ば	丨	人
妥	相	の	。	か	チ	と
協	手	文	文	り	エ	の
点	の	字	章	が	ン	や
を	面	だ	B	増	バ	り

100

20

問題三

	を	は	な	手	て	る		い	し	う	や	目		見
	す	な	げ	と	残	こ	な	よ	て	と	り	に	私	つ
	る	く	に	き	っ	と	ぜ	う	、	い	と	入	は	け
	よ	、	く	ち	て	も	な	に	む	う	り	る	、	る
	う	相	い	ん	い	あ	ら	し	や	気	す	と	文	こ
	に	手	と	と	る	る	、	た	み	持	る	こ	章	と
	し	の	思	向	こ	か	人	い	に	ち	と	ろ	B	が
	た	意	う	き	と	ら	の	°	相	が	き	で	の	難
	い	見	°	合	を	だ	考		手	強	に	自	筆	し
	°	も	議	っ	利	°	え		の	く	は	分	者	く
		尊	論	て	用	以	は		あ	な	相	と	が	な
		重	に	議	し	前	時		げ	り	手	は	示	る
		し	勝	論	て	の	間		足	す	を	意	す	と
		な	と	す	反	意	が		を	ぎ	や	見	よ	述
		が	う	る	論	見	た		と	る	っ	が	う	べ
		ら	と	こ	し	が	て		ろ	こ	っ	異	に	て
		や	す	と	て	文	ば		う	と	け	な	、	い
		り	る	に	も	字	変		と	に	て	る	他	る
		と	の	は	、	と	化		し	注	や	人	人	°
		り	で	っ	相	し	す		な	意	ろ	と	の	

440

400

300

200

(配点)

{ 問題一 10点
 問題二 30点
 問題三 60点 } 計100点

【解説】

問題一

B1 情報を獲得する 具体化 関係づけ

【文章A】では「意見や思想が違(ちが)う集団を嫌悪(けんお)して敵対(てきたい)する」と、集団化しエコーチェンバーによって自分たちの意見ばかりが増幅(かく)された状態の人たちのふるまいが指摘(してき)されています。【文章B】でこれと同じように意見や思想が異(こと)なる人たちに敵対(てきたい)する様子が書かれているのは、2ページ上段(じやうだん)です。「相手を完膚(かんぷ)なきまでに叩(たた)きのめすと、ギャラリーのひんしゆくを買うどころか、称賛(しょうさん)されることも少なくありません」とあり、自分たちと同じ意見の人が異なる意見の人を言い負かした時に称賛(しょうさん)される様子が書かれています。

問題二

B2 具体化 関係づけ 置き換え

【文章B】の筆者が、対面(たいめん)でのコミュニケーションの場合、どのようにしてお互(たが)いの面目(めんぼく)を守ると説明しているのかを問う問題です。

一段落で、相手の面目(めんぼく)を躊躇(ちゆうちよ)なくつぶしてしまうと、周囲の人びとからの評価(ひやうか)が下がってしまうことになりかねないということが書かれています。これは、お互いの面目(めんぼく)を守ろうとする理由(りゆう)になります。

また、三段落までに対面(たいめん)でのコミュニケーションについて述べられています。二段落目に『「なあなあ」で済(す)ませるといいうやり方(かた)がお互(たが)いの面目(めんぼく)を守る方法(かた)の一つであると述べられています。その直後(ちかご)で「つまり」という言い換え(か)の接続語(けつご)が続(つ)いていますから、「つまり」の後の内容(りゆう)を書くときとわかりやすくなります。

※七十字未満(むだん)の場合、採点対象(さいてんたいしょう)としません。

※この問題(もんだい)では、次のポイントを中心に見(み)ます。
内容等(りゆう)について (18点)

誤(ご)り1か所(ところ)につき、6点の減点(げんてん)となります。誤(ご)りは、答案用紙(たふし)に波線(なみぎ)で指摘(し)しています。

・対面(たいめん)でのコミュニケーションでお互(たが)いの面目(めんぼく)をどのようにして守(まも)るかについて、理由(りゆう)とともに筆者(しや)の考え(か)が書(か)かれているか

・内容(りゆう)が過不足(かふそく)なく書(か)れているか

・文(ぶん)の論理構成(ろんりけいせい)、主語(しゆご)や述語(じゆご)の関係(けいけい)は正(ただ)しいか、一文(いちぶん)が途中(ちゆうちゆう)で終(お)わっていないか

・同内容(りゆう)の不必要(ふじやう)な反復(はんぷく)がないか

形式等(けいしきとう)について (12点)

内容等(りゆう)が0点(てん)でない場合(ばいばう)、次のような視点(してん)で採点(さいてん)します。1つ目の誤(ご)りは6点(てん)の減点(げんてん)となります。2つ目以降(いご)の誤(ご)りは1か所(ところ)につき、1点(てん)の減点(げんてん)となります。誤(ご)りは、答案用紙(たふし)に直線(ちきせん)で指摘(し)しています。

- ・誤(ご)字(じ)や脱字(だつじ)がないか
- ・文法(ぶんぽう)的な誤(ご)りがないか
- ・語句(ごご)や言葉(ことば)の使(つか)い方に誤(ご)りがないか
- ・常体(じょうたい)、敬体(けいたい)の混在(こんざい)がないか
- ・不適切(ふていせつ)な話し言葉(かたがた)の使用(しやう)がないか
- ・消(け)し残り(のこり)などで字(じ)が見(み)づらくないか
- ・指定(しじ)されたマス目(め)の使(つか)い方で書(か)かれているか
- ・マス(マス)に一文(いちぶん)が書(か)かれているか

問題三

C2 理由 置き換え 推論

【文章A】と【文章B】に書(か)かれたことを確認(かくにん)して、インターネット

上での見知らぬ人とのやりとりにおいて注意しておくべきことについてあなたの考えを述べる問題です。

第一段落では、**文章A**と**文章B**の内容をふまえ、インターネット上での見知らぬ人とのやりとりにおいて発生する可能性のある問題についてまとめます。

文章Aでは、電子掲示板やSNSにおけるエコーチェンバー現象についてくわしく説明されています。この部分を利用してまとめるとよいでしょう。

また、**文章B**では、対面でのコミュニケーションと比較して、ネットワーク上でのコミュニケーションの難しさが説明されています。この部分を利用してまとめるとよいでしょう。

第二段落では、**文章A**と**文章B**のいずれかの筆者の考えをふまえて、あなたの考えを書きます。たとえば、「SNSや掲示板などのフィルターを通すことで、その意見や思想はさらに増幅され、強化され、そして攻撃的になる」という**文章A**の筆者の意見に同意できる場所があれば、自分が触れていると思っ
ている世の中の意見が想像以上にせまい範囲のものであると自覚してやりとりをする、という方向で自分の意見をまとめることができます。また、現在とは異なる以前の自分の考えも文字の形で残ってしまうことがあり、そのために「なあなあ」で済ますことができなくなる、という**文章B**の筆者の意見に同意できる場所があれば、たとえばはつきりした形で以前の考えが書かれていたとしても、あげ足をとるように相手の意見を攻撃しないように気をつける、という形で自分の意見をまとめることができます。

第三段落では、第二段落で述べたことについての理由を書きます。

※四百字未満の場合、採点対象としません。

※この問題では、次のポイントを中心に見ます。

内容等について（48点）

誤り1か所につき、6点の減点となります。誤りは、答案用紙に波線で指摘をしています。

第一段落について

- ・ インターネット上での見知らぬ人とのやりとりにおいて発生する可能性のある問題について**文章A**と**文章B**の筆者の考えがそれぞれ書かれているか
- ・ 内容が過不足なく書かれているか
- ・ 文の論理構成、主語や述語の関係は正しいか、一文が途中で終わっていないか

第二段落について

- ・ 第二段落でまとめた内容に関する**文章A**と**文章B**のいずれかの筆者の考えをふまえて、インターネット上での見知らぬ人とのやりとりにおいて注意すべき点について自分の考えが書かれているか
- ・ 内容が過不足なく書かれているか
- ・ 文の論理構成、主語や述語の関係は正しいか、一文が途中で終わっていないか

第三段落について

- ・ 第二段落に書いたことについての理由が書かれているか
- ・ 内容が過不足なく書かれているか
- ・ 文の論理構成、主語や述語の関係は正しいか、一文が途中で終わっていないか

・ 同内容の不必要な反復がないか
形式等について (12点)

内容等が0点でない場合、次のような視点で採点します。1つ目の誤りは6点の減点となります。2つ目以降の誤りは1か所につき、1点の減点となります。誤りは、答案用紙に直線で指摘をしています。

- ・ 誤字や脱字がないか
- ・ 文法的な誤りがないか
- ・ 語句や言葉の使い方
に誤りがないか
- ・ 常体、敬体の混在がないか
- ・ 不適切な話し言葉の使用がないか
- ・ 消し残りなどで字が見づらくないか
- ・ 原稿用紙の使い方
に誤りがないか
- ・ 指定された段落数で書かれているか